

今林 明子 展

IMABAYASHI AKIKO EXHIBITION

はざま
対極の間で

2011. 6.28—7.23

「対極の間で」

満たされた日常を送っているはずなのに、ふとした瞬間にどうしようもなく感じてしまう形のない不安や虚無。

私はこういったりとめのない感情に興味を持つ。

このような何気ないものの中にこそ、何か重要なものが潜んでいると考えているからである。

強いものと弱いもの。確かなものと不確かなもの。広がりど収縮。

光と影。生と死。

対極なものの間を行ったり来たりしながら、私は描くことを通して、日常に埋もれた何かを探っている。

今林明子

本展では、100号の大作を含めた近作十数点の発表を行います。私はこれまで「日常に潜む不安や虚無感」の表現をテーマとしたシリーズ作品を制作してきました。制作方法は、まずモチーフを撮影し、その写真を参考にしながらパネルに油絵の具で描いています。グレースやウエットインウエットの技法を用い、描写とぼかしを繰り返して仕上げます。曖昧な雰囲気がありつつも、広がりど強さを持った絵画を追求できたらと考えています。

今林 明子 IMABAYASHI AKIKO

1985年 福岡県生まれ

2008年 福岡教育大学 生涯スポーツ・芸術課程 卒業

2010年 佐賀大学 教育学研究科 修了

福岡県在住

■主な展覧会・受賞歴

2007年 第61回二紀展【国立新美術館・東京】(以後毎年入選、'08優賞、'10二紀賞)

ACRIL AWARD 2007【O美術館・東京】大賞

2008年 第27回損保ジャパン美術財団選抜奨励展【損保ジャパン東郷青児美術館・東京】

第9回春季二紀新人選抜展【東京都美術館・東京】('10出品)

2009年 第6回はるひ絵画トリエンナーレ【清須市はるひ美術館・愛知】優秀賞

第27回上野の森美術館大賞展【上野の森美術館・東京】

トーキョーワンダーウォール公募2009【東京都現代美術館・東京】

第24回ホルベイン・スカラシップ奨学生

2010年 IMAGINE-01a-ギャラリストがつなぐ若手作家たち-[九州産業大学美術館・福岡]

襲と鏡【ギャラリーおいし・福岡】

第8回前田寛治大賞展【高島屋東京店・東京/倉吉博物館・鳥取】

A I C H I G E N E -some floating affairs-【愛知県立芸術大学芸術資料館・愛知】

2011年 第46回昭和会展【日動画廊本店・東京】

2009年 個展【ギャラリーおいし・福岡】

■所蔵先：ターナー色彩株式会社、清須市はるひ美術館、福岡教育大学

■<http://www.7b.biglobe.ne.jp/~akiko-works2007/>

参考図版



「闇に笑ふ」 2010年 162.0×162.0 cm



「陰の在る情景」 2011年 91.0×145.0 cm



「彼岸より」 2010年 27.0×41.0 cm



「移ろいゆくもの」 2010年 91.0×91.0 cm



「柔らかな影」 2010年 91.0×91.0 cm

展覧会名：今林明子展 対極の間で

会期：2011年6月28日(火)～7月23日(土)

会場：現代美術企画ギャラリー アートプロ ガラ

12:00～18:00、日・月休み

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-3-31 ハイラーク舞鶴南側1F

TEL.092-738-0655 FAX.092-738-0656